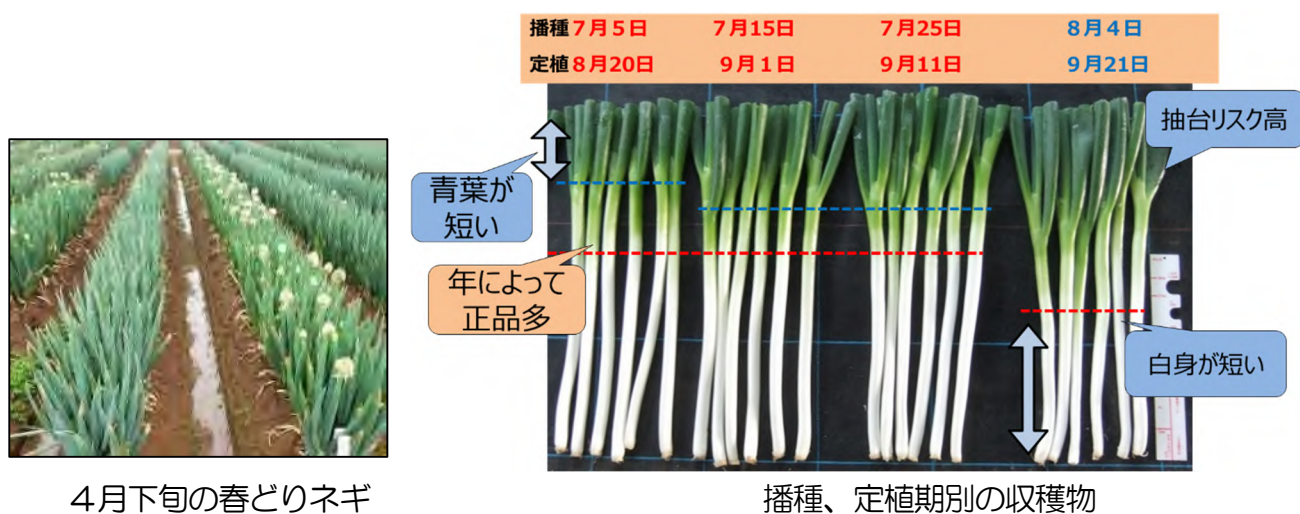


# 春どりネギの端境期出荷を可能にする栽培方法

千葉県における春どりネギ栽培では、ねぎ坊主の発生（抽台）が多くなることから4月中下旬が端境期となります。そこで、この時期に春どりネギの出荷を可能にする栽培方法を開発しました

## 1 成果の内容

- (1) ねぎ坊主の発生が遅い品種の「初夏扇2号」及び「羽緑2号一本太」を用いることで4月末日までに抽台した株が0～15%となり、4月下旬までの安定出荷が可能となりました。
- (2) 4月下旬に出荷するために適した播種-定植期は、7月上～下旬播種-8月下旬～9月中旬定植であることを明らかにしました。
- (3) 7月上旬播種-8月下旬定植だけでは白身が伸びすぎることがあるため、7月下旬播種-9月中旬定植まで播種-定植期を分散させる必要があります。
- (4) 8月上旬以降の播種は、花芽分化時の内包葉数が少なくなり、4月末日までに抽台するリスクが高くなります。
- (5) 5月以降は抽台が増えるので、トンネル夏どりネギ栽培に切り替えます。



## 2 普及の状況

海匝<sup>かいそう</sup>、山武地域を中心に上記品種の作付けが進んでいます。

3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター 東総野菜研究室 0479-57-4150

4 掲載年月 令和5年11月